

■藤園中学校・城東小学校、江南中学校・向山小学校・向山幼稚園の魅力ある学校づくり 基本計画の進捗状況について

令和7年(2025年)1月23日 教育改革推進課

1 これまでの経緯

藤園中学校・城東小学校、江南中学校・向山小学校校舎は建設から60年以上が経過しており、近く改築が見込まれている。そこで、こどもたちにとって良好な教育環境を確保するとともに、財政負担や資産総量の適正化などを含め、最適な整備手法・整備方針を検討するため、今年度中の計画策定を目指してきた。

2 現状と計画延期の理由

令和5年度(2023年度)に策定した基本構想及び令和6年(2024年)9月の定例教育委員会会議において協議いただいた素案に計画策定及び学校整備にかかる最短スケジュールを示していた。

向山校区は令和6年(2024年)12月の第5回新校準備会で、城東校区は令和6年(2024年)10月の第2回意見交換会でご意見を伺ったところ。その中で、特に以下の項目については、市における方針の検討や、地域や保護者等との協議に時間を要することから計画の策定を延期するもの。

■藤園・城東

(1)学校敷地内の余剰地活用方針の検討

・地域から、学校敷地内については民間施設でなく、子育て支援施設や教育センターなどの公共施設や、グラウンドの確保を望む声が強かったため、こどもたちにとってより良い教育環境を確保し、その上で余剰地を確保することが可能か検討を行う。

■江南・向山

(1)こどもたちにとってより良い教育環境の確保のための施設配置の検討

・幼稚園は自然環境の中で遊び学ぶことが大事であり、現在の園環境の維持を望む声強く、施設配置の検討を行う。

(2)人口の増減に柔軟に対応できる施設配置の検討

・向山校区は人口の変動が予測しにくい状況があるため、今後の児童・生徒数を考慮し柔軟に対応できる施設配置の検討を行う。

(3)向山小学校・幼稚園の余剰地活用方針の検討

・小学校敷地について、売却・貸付を含めた反対の声が強く、また、当面の間、市で活用する可能性があることから、余剰地活用の検討を行う。

■共通

(1)資産総量の適正化における効果の検討

・藤園においては、総合図書館や多目的室、会議室、カウンセラー室等、江南においては、加えて図工・美術室、理科室、職員室、事務室、保健室等を小中学校で共用することを検討してきたが、1小1中の一体整備においては学級数や教職員数の変化がなく、施設面においても人員配置の面においても効果は限定的であることから、一体整備の効果について検討を行う。

3 見直し案

藤園・江南中校区については、老朽化を契機とした一体整備等を検討するため、今年度中の計画策定を目指してきたが、2校区ともに計画の策定を延期する。

■藤園・城東

・敷地内余剰地の活用方針の協議・決定に時間を要するため、令和7年度中(2025年度中)の計画策定を目指す。

■江南・向山

・現在、将来推計の増減が見込めない状況にあるため、当面の間、計画策定を延期する。
余剰地の活用方針についても、計画の策定と併せて検討していく。

見直し前のスケジュール 最短 施設整備スケジュール(藤園・江南共通)

年度	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)
従来手法 最短例	基本構想 策定	基本計画 策定	基本・実施設計 解体設計	発注 準備	新校舎等建設工事		解体工事	校庭整備	
PPP/PFI 最短例	基本構想 策定	基本計画 策定							
			事業者 募集等	基本・ 実施設計	新校舎等建設工事		解体工事	校庭整備	

最短令和11年度以降供用開始

参考

■(藤園・城東)意見交換会におけるご意見

- ・住民からの苦情が想定されるため、マンション等は好ましくない。
- ・こどもの居場所を作り、モデルとなるような計画としていただきたい。
- ・収益施設が近くにあることに懸念がある。教育センター等、公共施設の方がよい。
- ・広いグラウンドを確保した方がよい。
- ・温水プールや設備の整った体育館を作り、日中は子どもたちのために使い、放課後や土日に貸し出すのであれば良いと思う。
- ・幼児や乳児の施設・保育園、高齢者施設等、子どもたちと接することができる施設だと喜ばれるのではないかな。

■(江南・向山)新校準備会におけるご意見

- ・広さだけの問題ではなく、環境が維持できないのであれば幼稚園はそのままの形で残してほしい。
- ・自然環境の中で遊べる学べる幼稚園であってほしいと子どもたちも願っている。
- ・プールは作らない、体育館は作らない、幼稚園の環境も狭くなる。魅力のないものになってしまう。このまま進めていいのか。
- ・5、6年生は中学生と一緒にすることで、中学校の専門的な授業を受けて学力をつけたり、部活動に参加できたり、幼稚園の年長さんと1年生だったら、幼稚園の遊びを小学校の生活科に生かすとか、一体型には魅力がある。職員の集団も同じ職員室だとか、利点であると思う。でも、体育館がなくなるとか、育成は別だとか、幼稚園のことも、不安はすごく感じる。
- ・幼稚園に限らず、全体で考えてもらった方がよい。幼稚園だけ別、ではなくて、全体をどうするかで考えていった方がよい。
- ・少なくとも向山小学校敷地は、学校教育のために使って欲しい。
- ・終期を決めずにじっくりやっていくという方向が良いのではないかな。